2021年（令和3年）10月23日（土曜日）　中日新聞

苦境の学生救って
4大学に各80万円
名古屋キワニスクラブ

子どもの福祉向上や教育支援を行う社会奉仕団体「名古屋キワニスクラブ」（中村区名駅一）は二十二日、新型コロナ禍で困窮する大学生を支えようと、県内に本部を置く四大学に各八十万円を贈った。

相羽会長㊨から目録を受け取る県立大の久冨木原学長＝名駅の名古屋マリオットアソシアホテルで

同区内のホテルで贈呈式があり、愛知教育大（刈谷市）、県立大（長久手市）、県立芸術大（同市）、豊橋技術科学大（豊橋市）の代表者に、同クラブの相羽博文会長（東郷製作所専務取締役）から目録が手渡された。

相羽会長は「学生は緊急事態宣言が解除されても経済的に厳しい状況にある。少しでも希望を持って生活してほしい」とあいさつ。県立大の久冨木原玲学長は「貴重な学生生活四年間のうち、学生は約二年もまともに大学に通えていない状況。心のこもった贈り物に感謝したい」と述べた。

同クラブには百四十二人の会員がおり、毎年十月下旬に「キワニスワンデー」と称しさまざまな奉仕活動をしている。昨年度も同様に名古屋市内の三大学に各百万円を贈った。

2021年（令和3年）10月23日（土曜日）　讀賣新聞

困窮学生を支援
4大学に寄付金
名古屋キワニスクラブ

社会奉仕団体「名古屋キワニスクラブ」（相羽博文会長）は22日、コロナ禍で経済的に困窮する学生を支援するための寄付金の贈呈式を名古屋市内のホテルで行った＝写真＝。

今回は、愛知教育大（刈谷市）、県立大（長久手市）、県立芸術大（同市）、豊橋技術科学大（豊橋市）の4大学にそれぞれ80万円寄付した。

相羽会長は「次世代を担う若者が経済的な困窮の中にあっても、希望を持って学問に取り組めるように支援を決断した」と話した。

久冨木原（くふきはら）玲・県立大学長らは「100年に1度のパンデミックといわれる中で学生たちには今できることを頑張ってほしい」などと述べた。